

TAC・Wセミナー 2023・2024年度合格目標

国家総合職内定者アドバイザーホームルーム

第3回『国家総合職合格への道～自由は不自由の中にあり～』

12月12日(月)新宿校・12月14日(水)オンライン



本日の予定

1. LAの軽い自己紹介
2. 模試活用法
3. 年末年始の過ごし方
4. 官庁訪問対策（民間、公務員併願のアレコレ）
5. 質問・座談会
6. 今後の告知

無断複製（コピー等）・無断転載等を禁じます。

【HRとは】

私たち国家総合職内定者アドバイザー（LA）が皆さんの勉強と官庁訪問対策をサポートする機会です。内定に近づくための6回のHRを用意しています。

基本的に月一回のペースで新宿校とオンラインにて開催する予定です。内定者スタッフが就活生だった去年の同じ時期に不安に思っていたことや、欲しかった情報などを徹底的に分かりやすくお伝えしたいと思っています。

途中入場・退出は自由です。日ごろの勉強の息抜きに、小さな悩みを解消するために、内定者にしか分からない話を聞きに、お気軽にご参加ください！

LAに寄せられた質問やその回答についてもその都度このHRで紹介したいと思っているので、そちらも併せてご利用ください。

【今後の予定】

第4回HR

「国家総合職合格への道～蛍雪之功～」

論述試験対策・官庁訪問の実際 Vol.1

1/16（月）16：30～17：30 新宿

1/17（火）18：30～19：30 オンライン

第5回HR

「志望動機の書き方・官庁訪問の実際Vol.2（仮）」

日程未定

第6回HR

「内定までの噂と真実・受験生に贈る言葉（仮）」

日程未定

（日程・校舎にご注意ください）

目次

【LAの自己紹介】

【模試活用法】

【年末年始の過ごし方】

— 【法律区分編】

— 【経済区分編】

— 【政治・国際区分編】

— 【教養区分合格者編】

【官庁訪問対策 民間就活・公務員併願編】

【前回いただいた質問への回答】

【今後の告知】

【LAの自己紹介】

葛西 万由

厚生労働省/早稲田大学文化構想学部/政治・国際区分

【併願先】内閣府

【訪問先】厚生労働省

【講座】政治・国際本科生

【専攻】メディア論

【得意科目】政治学、知識科目

【苦手科目】国際法

【しておいてよかったこと】省庁イベントの参加、担任カウンセリング

【マイブーム】ワンツーフックからの右ミドルキック

【メッセージ】

「何のために働きたいか、誰となら頑張れるか」

この原点に立ち返りながら、将来の自分と向き合うことが大切だと思います。微力ながら皆さんのサポートをさせていただければ幸いです。

HRや相談コーナーでお待ちしています♪



谷口 元軌

消費者庁/法政大学法学部/法律区分

【併願先】文部科学省、内閣府、裁判所事務官、東京都庁、国税専門官、国家一般職

【訪問先】文部科学省、内閣府、消費者庁

【講座】法律本科生

【専攻】民法（消費者法）

【得意科目】憲法、国際法

【苦手科目】政策論文、文章理解（英語）

【しておいてよかったこと】説明会等への参加、受験生同士での情報交換

【マイブーム】美味しい紅茶の探求

【メッセージ】

内々定に至るまでの道のりは長く険しいものですが、同時に乗り越えた時の喜びもまた格別なものです。

そうした私たちの経験を糧として皆さんの最善の結果の一助となれば嬉しく思います。

元受験生として、同じ志を持つ者として皆さんに会える日を楽しみにしています！



野里 夏彩

防衛省/慶應義塾大学法学部/政治・国際区分

【併願先】外務省、東京都庁、国家一般職

【訪問先】①防衛省②外務省

【講座】政治・国際本科生

【得意科目】国際関係、人事院面接

【苦手科目】数的処理

【しておいて良かったこと】説明会への参加、担任カウンセリング、

HRへの参加、模擬面接、友人との官庁訪問対策ゼミ

【マイブーム】味が濃いラーメン屋探し

【メッセージ】

内々定をいただくまで不安や葛藤がたくさんあると思いますが、少しでも解消できるよう全力でサポートします。気軽に声をかけてくださいね！一緒に頑張りましょう！



長井 優樹

経済産業省/慶應義塾大学文学部/政治・国際区分

【併願先】農林水産省・国土交通省・東京都庁

【訪問先】経済産業省、農林水産省、国土交通省

【講座】政治・国際本科生

【専攻】東洋史

【得意科目】憲法等の暗記系科目

【苦手科目】政策論文、数的処理

【しておいてよかったこと】筋トレ、小ネタ作り

【マイブーム】洋楽聞きながらする自重トレーニング

【メッセージ】

社会人経験の体験や就活を2度経験している私ならではのアドバイスが出来ればと思います。就活という答えのない難問にともに立ち向かいましょう。



橋本 将

文部科学省/横浜国立大学経済学部/教養区分

【併願先】厚生労働省、内閣府、東京都庁、横浜市、国家一般職、
国税専門官、裁判所事務官一般職、旭川市

【訪問先】厚生労働省、内閣府、文部科学省

【講座】横国本科生

(地上国般コース国家総合職併願講座(経済区分))

【専攻】財政学

【得意科目】数的処理、財政学

【苦手科目】なし

【しておいてよかったこと】説明会計60回以上参加、勉強会

【マイブーム】大声を出して周りの子どもをドン引きさせること

【メッセージ】

内々定までにはたくさんの困難があり、誰しもがつらい、苦しい思いをします。私自身も官庁訪問までの期間は本当に苦しかったので、現在受験勉強を頑張っているみなさんに少しでも力になればと思います。一緒にこの試練を乗り越えましょう！



佐藤 凜

総務省自治分野/早稲田大学法学部/教養区分

【併願先】金融庁、農水省

【訪問先】総務省

【講座】1.5年法律本科生、教養区分強化パック

【専攻】民法債権法

【得意科目】官庁訪問、自己分析

【苦手科目】企画提案試験

【しておいて良かったこと】説明会への参加、TACホームルーム・
省庁説明会等での友達作り、担任カウンセリング

【マイブーム】4年間を振り返ってエモくなる

【メッセージ】

部活・サークルなど両立を頑張りたい方、ご相談ください！官庁訪問対策も意外といけます！ゆるくおしゃべりしたい方もぜひぜひ。国総就活楽しく乗り切ろう！



高宮 康大

環境省/東京大学文学部/教養区分

- 【併願先】総務省、内閣府
- 【訪問先】環境省、総務省、内閣府
- 【講座】秋試験経験者区分本科生
- 【専攻】国語学
- 【得意科目】数的処理、自然科学
- 【苦手科目】自己分析
- 【しておいて良かったこと】自主ゼミ、HR参加
- 【マイブーム】サイクリング（最近さぼり気味）、温泉（これからがオンシーズンです）
- 【メッセージ】

就職活動を通して、たくさんのつらいことがあると思います。私は「自分」と全力で向き合うことが一番大変でした。寄り道に寄り道を重ねた就職活動を経て、相談できる誰かがいることが非常に力になると感じたので、少しでも困ったことがあればカウンセリングやHR等で気軽にLAに声をかけてください！



山口 夏未

総務省/慶應義塾大学・経済学部・経済学科/経済区分

- 【併願先】厚生労働省、内閣府
- 【訪問先】総務省、厚生労働省、内閣府
- 【講座】経済本科生
- 【専攻】行動経済学
- 【得意科目】数的処理、統計学・計量経済学
- 【苦手科目】文章理解、経済理論
- 【しておいて良かったこと】自主ゼミ、カウンセリング利用
- 【マイブーム】御朱印巡り（伊勢旅行を機にハマりました）、スポーツ観戦（最近専らW杯ですが、一番好きなのはフィギュアスケートです！）
- 【メッセージ】

部活やサークルと両立したい、民間就活と両立したい、周りに公務員志望者がいないけど頑張りたい…人の数だけ就職活動の形があります。時には孤独を感じることもあるかもしれませんが、だからこそ私はLAとして、皆さんの背中を押す存在でありたいと思っています。悩んだり迷ったりした時には、気軽に相談に来てくださいね。



【模試活用法】

春試験まで4か月を切りました！合格に向けて日々勉強に邁進していると思いますが、試験が近づくほど、自分の実力や立ち位置が知りたくなるのではないのでしょうか？そこで、今回は自分の実力を測るのに**最も有効な模試の活用法**についてお話します。

【模試前】

●谷口（法律）

各科目・各分野の**目標点**を設定していました。基礎能力試験に関しては特に、数的処理に必要な時間（90分以上）を確保できるように文章を迅速に読むことを心がけた練習をしていました。

専門科目試験に関しては、可能な限り模試前1週間で全範囲を復習できるようにしていました。

●山口（経済）

模試を受けるにあたっては、ぜひ**目標となる点数**を決めてみるといいと思います。私は模試時点では「基礎能力試験は6割、専門試験は5割」を目標に勉強していました（基礎能力試験の方が得意だったので、少し目標を高めに設定していました）。

その後は目標を達成するために、問題集の正答率や演習の状況を見ながら勉強スケジュールを修正していました。例えば問題集の正答率が悪い経済理論の演習時間を増やしたり、逆に正答率の良い統計学・計量経済学は勉強時間を減らしたりしていました。また教養区分受験以降勉強していなかった文章理解や知識分野科目も模試に向けて勉強を再開しました。勉強に遅れがある人や偏った勉強をしている人にとって、模試はそれらを見直す良いきっかけになるので、上手く活用していきましょう！

●葛西（政治・国際）

まずは各科目の**目標点と時間配分**を設定していました。文章理解と数的処理は、**スピードと正確性**をUPさせるために、問題集から何問かピックアップして時間内に解く練習をしました。（文章理解は現代文×2、英文×4を25分以内。数処は判断×2、図形×1、数的推理×1、資料×1を40分以内）。

専門科目は、模試までに択一演習を終わらせるのがベスト。演習で失点した単元を中心に問題集を反復しました。

●野里（政治・国際）

私は初めての模試の時点で、専門科目は7月までに対面で受けていた政治学と憲法・国際関係は半分くらいまでしか見終わっていませんでした。そのため、自分の力試しにはなりませんでした。が**時間配分をつかむこと、自分が解ける問題・解けない問題を確認すること**には役立ちました。もし、講義見終わっていないから模試受けるのやめようかなと思っている人がいたらぜひ受けてみてください！

【模試当日】

●谷口

基礎能力試験に関しては、「知識分野15分→文章理解50分→数的処理100分以上」(理想形)に近づけるように、各分野を解き終わった時点での時間をメモしました。数的処理は、本番であつたら捨てるであろう問題を見極める力・精神力を養うつもりで、解けなそうと思ったら容赦なく捨てるようにしました。

専門択一試験は、単に選択肢の正誤を判定するだけでなく、なぜ誤っているのか、どうすれば正しくなるのか、問題作成者は何と間違えさせようとしているのかをメモしつつ解答しました。

●山口

基礎能力試験では試験時間をフル活用するために、問題を解く順番を意識していました。試験時間は3時間ですが、これを家で計って解くのはなかなかしんどいので、時間配分を確認するうえで模試はかなり貴重な機会です。文章理解、数的処理、知識分野のどれを先に解くべきかだけでなく、数的処理は数的推理、判断推理、図形、資料解釈のどこから解きはじめるのが一番自分に合っているか、2回の模試を通して確認できるといいと思います。

一方で専門試験はまだまだ勉強が完成しないまま迎えてしまったので、現時点でどの問題が解けてどれが解けないのかを確認しながら解き進めていました。

●葛西

基礎能力は時間との戦い。とにかく時間配分に命を懸けていました。「文章理解60分→知識分野20分→数的処理100分」という流れを徹底するため、小問ごとに解答時間をメモしました。特に苦手だった数的処理は、以下の手順で取り組みました。専門択一は3時間半をフル活用して、みっちり見直しをしました。本番同様のスタイルで挑みたかったので、大好きな鮭おにぎりとブラックコーヒーにお供してもらいました！

- ①問題をザッと読み、○△×問題の判別をする。(○取れる△取れそう×捨て問)
- ②資料解釈2問を確実に取る。(12分~15分)
- ③判断推理の○問題を解く。(得意な位置や順序から解く)
- ④数的推理の○問題を解く。(沼にハマったら切り上げて次に行く！)
- ⑤判断推理の△問題を解く。(長時間は割かない。「あ、やっぱ無理だ。」と感じたら次に行く。)

【模試後】

●谷口

とりあえず自己採点。基礎能力試験に関しては、知識分野は解説を読みつつテキストを見返した程度でした。文章理解で間違った英文はゆっくりと単語を調べつつ、文構造を分解して読み直しました。数的処理は、解けなかった問題に限り、時間を気にせず解きなおしました。専門択一試験に関しては、知らない判例・事件が出てきた時にはテキストに書き込みつつ判例集やWikiなどで背景事情を探り、小ネタと合わせて記憶に残りやすいようにしました。

●山口

試験後はすぐに模範解答がもらえるので、遅くとも**翌日までに自己採点を終わらせて**いました。特に基礎能力試験は自己採点と同時に間違えた問題の解き直しもして、次に似たような問題が出たときに必ず解けるように意識していました。

また、試験から数日後には結果表がTAC WEB SCHOOLに送られてくるので、そこでは自己採点と実際の結果にずれがないか、各問題の正答率、順位を見るようにしていました。順位は出来が良かった人には安心材料、出来が悪かった人にはカンフル剤になりますし、いずれにせよ解き方や勉強スケジュールを見直すうえで各問題の**正答率は重要な情報源**になります。また自己採点より実際の点数が低かった人は、本番でも自己採点で合格可能域に達していたからといって油断しないようにしましょう。

●葛西

即行で自己採点&解き直し。いつでもどこでも見られるように、**①各科目の正答率②時間配分の振り返り③失点分野・理由**を手帳にメモしていました。その振り返りを基に、勉強計画を修正していました。例えば、「国際法の海洋法判例が分からず失点したから、問題集のA問題をもう一回やろ！」とか「政治学で知らない人物がめちゃ出題されたから、ノートにまとめよ～」とかです！模試を振り返ることで、自分の強みと弱みを改めて、あるいは新たに知ることができます。どんな結果でも現実と向き合うことをオススメします。春試験1週間前には、もう一度模試を解きました！時事的な問題も多いので、直前期のおさらいにはもってこいの教材！！

※参考※

今年度の模試スケジュール

択一模試第1回 新宿校 1/27（金） 早稲田校 1/29（日）

択一模試第2回 新宿校 2/17（金） 早稲田校 2/19（日）

論文模試 新宿校 3/10（金） 早稲田校 3/12（日）

【年末年始の過ごし方】

○法律区分：谷口

大学の授業も無くなり使える時間も多くなりますが、同時に自身の意志の強さによって勉強時間が大きく左右されてしまう時期であるようにも思います。年末年始だからといっていきなり勉強時間を増やそうとするよりかは、今まで通りの生活を送るように意識した方が良いと思います。私は、部屋の大掃除をした後、友人と初めて靖国神社に行って屋台を楽しんでいました。

●気を付けること

体調管理一択！！食べすぎ・飲みすぎ・寒暖差など色々な要因はあると思いますが、体だけは壊さないように気をつけましょう。

●アドバイス

朝起きて夜寝ることだと思います。年末年始はどうしても周りの空気感から夜更かしをしてしまいがちですが、生活リズムは一度崩れると修正が難しいので、可能な限り試験を想定した生活リズムを作り、維持しましょう。

●勉強時間

午前中3時間程度、午後6時間程度の計9時間程度であったと思います。普段の勉強スケジュールから大きく崩さないように意識していました。

●勉強場所

自身の部屋&実家の部屋

○経済区分：山口

年末は私にとって教養区分に落ちてすぐのタイミングでもあったので、あまり勉強には身が入りませんでした。最初は焦ってまだ取り掛かっていない科目を中心に勉強してみたりもしましたが、集中できないとわかったのですぐに「勉強は年明けからすればいい、今は勉強以外のことをしよう」と気持ちを切り替えて、各省庁の説明会や内定者座談会に出席したり（または年明けすぐのイベントに申し込んだり）、アルバイトや家の手伝いをしたり、ゼミで担当していた役職の仕事をこなしたりして過ごしていました。大晦日付近の2～3日はゆっくり休むと決め、テレビで年末特番を観るなどして過ごしていた記憶があります。

その分年始からはしっかりと勉強をしようと心に決めていたため、元日からTACの講義を聞いたり問題演習をしたりして過ごしていました。おかげで箱根駅伝がお預けになってしまいました（泣）。年内から専門試験の勉強に取り掛かっている皆さんはもう少しゆっくりしても大丈夫だと思いますよ！

●気を付けること

年内の目標を設定しているのであれば、必ず達成できるように勉強を進めましょう。万が一年明けに持ち越すことになった場合は、どのようにすれば遅れを取り戻せるのか、年明け以降のスケジュールを今一度考えましょう。年明けからは二次試験や官庁訪問の対策も本格化するので、特に一次試験の勉強はなるべく遅らせないようにしたいところです。

●アドバイス

自分なりにメリハリをつけて計画を立て、それを実行することが大切だと思います。

年末年始に大切なのは勉強や就活だけではなくありません。周りの人と過ごす時間、あるいは一人でゆっくりする時間も長い目で見れば貴重なはずです。しかしそこで気まで抜けてしまうと年明けからの対策に弾みがつかなくなってしまうので、どのようにすればモチベーションが維持できるか、ぜひ自分なりの過ごし方を研究してみてください！

●勉強時間

年始の勉強時間は1日6時間ほどだったと思います。

●勉強場所

自宅（自分の部屋）

○政治国際区分：葛西

年末年始はメリハリを意識しながら楽しみました。勉強スケジュールに則って、ノルマが達成できたらまったりしてOKというルールにしてました。勉強漬けで病むのもイヤだったので、試験のことを何も考えなくていい時間をあえて作るようにしていました。勉強に飽きた時は、おせち作りやテレビで気分転換していました。年末のテレビ番組といえば、ジャニーズカウントダウン。元Jヲタにとって年に一度の大イベント。そうそれがカウコン。見逃しは許されない事態なので、大晦日までに年内のノルマを達成するように頑張りました。

●気を付けること

とにかく眠いのが年末年始。床暖の上での勉強は要注意です。こたつなんてもう取扱注意の危険物です。ブラックコーヒーと目薬を常に常備しましょう。

●アドバイス

ダラダラと勉強したくなかったので、冬休み初日に10日間の勉強スケジュールを立てました。何としてもジャニーズカウコン前に講義を見終えたかったので、サブ科目の視聴を最優先にして、その他の時間はメイン科目と基礎能力の演習に当てま

した。1日のノルマを明確に設定することでプチ達成感を味わえるので、オススメです。ただし、ヘビー級のノルマを課すと返って絶望感を味わうことにもなるので、気を付けてくださいね。年末年始は自分に優しくするのもアリですよ。

●勉強時間

1～10時間（平均7時間）

●勉強場所

基本は自室・飽きたらリビング・カフェ（ド〇ールとプ〇ントの迷惑客になりかける）

○政治国際区分：野里（これまで勉強してこなかったパターン）

●気を付けること

年内までに勉強できなかった皆さん！そろそろ本腰を入れ始める時期ですよ！休みに入っても大学の試験勉強やレポートで意外と時間がとられるので、公務員試験勉強に割ける時間を意識的に確保しましょう。他のIAは年末年始にあまり根詰めすぎないでねと優しく言っていますが、これまでの勉強の貯金が無い人は覚悟を決めて勉強してください。年末の特番を見たり、友達と遊んだりするのは今年はあきらめてもらって、とりあえず講義を2倍速で消費しましょう。

●アドバイス

未視聴の講義数とまだ解いていない問題集の問題数を数えて自分の状況を把握しましょう。私はそれをやって絶望しました。そのおかげでやる気が出て、試験日から逆算して一日にやるべきことを割り出し勉強スケジュールを立てられました。

●勉強時間

2～6時間

●勉強場所

自宅、大学の図書館、TAC日吉校の自習室

○政治国際区分：長井

年末は仕事を辞めた解放感に浸っていました。退職手続きや友人と飲みに行ったりしていました。年始は正月特番や箱根駅伝をみて過ごすなどゆっくりしていました。それと同時に年末年始の気が向いた時間に行政学の講義を一通り受講しました。講義内容があまり入ってこず、うたた寝していた記憶があります。

●気を付けること

年末年始は時間が多く取れるからといって勉強予定を詰め込みすぎないように気を付けてました。年末年始は周囲もドタバタしているので思ったより集中出来ません。

●アドバイス

国家総合職試験、官庁訪問前最後のダラダラ、ゆっくりできる期間なので存分に味わいましょう。

モチベアップにオススメしたいのは映画やドラマです。主人公たちに襲いかかる様々な困難な状況を自分と重ね合わせることができ自分も頑張ろうと思えると思います。去年だと『日本沈没』なんか観てました。あと受験ものの映画も観ました。『ビリギャル』は有村架純がかわいいし、私の母校を目指す話だし、主題歌サンボマスターだしって感じでやる気が出ました。個人的には『ルーキーズ』も好きです。一発逆転を目指してゼロから努力して成功する話が好きなんです。ひとくくりにしていいか分かりませんが大概の日本人ってこういうの好きですよ？

●勉強時間

5～10時間 （最低5時間）

●勉強場所

TACの自習室（12月28日くらいまで）、自宅リビング、電車内

○教養区分：橋本

年末年始は実家に帰省して遊びまくってました。1年遅れの成人式もあったので、2週間以上帰省したのですが、体に無理を聞かせて遊び続けてました。正直教養区分で受ければ年末年始に特にすべきこともないので、自由に過ごせばいいんじゃないかと思います。でも、地上国般を併願している人は勉強した方がいいです。みんな勉強しているので。

●気を付けること

1月中旬くらいから説明会などが再開されるので、それまでには体調を整えておく方が良いです。あと、たまに就活を終えている人もいますが、あんまり気にしないようにしましょう。

●アドバイス

これ以降はあんまり羽目を外して遊ぶことはないかもしれないので、遊ぶときは全力で遊ぶほうがそのあと切り替えもうまくいくかも。

●勉強時間

完全に0時間

ただ、私は1月中旬の文部科学省の職員訪問で失敗しているので、もし不安なら政策研究・省庁に関連する本を読むのはありだと思います！

●勉強場所

なし

○教養区分：佐藤

実家で筋トレ！！最後の1年妥協無く部活に励もうと誓った。けどデッドリフトで腰をいわせた、、、

真面目な話をすると教養区分勢は年末年始、すべて忘れてやりたいことをやると良いと思う。

●気を付けること

トレーニング前にならず入念にアップをすること。

真面目な話をすると、どこかで年末年始気分を切り替えるタイミングは必要だと思う。自分の場合は東京に戻ってくるときだった。

●アドバイス

年末年始は増量のチャンス。餅を間食とすべし。

真面目な話をすると実家には帰りましょう。そこで英気を養って1年間頑張りましょう。家族はパワー。

●勉強時間

0時間

●勉強場所　なし

○教養区分：高宮

私は、教養試験の合格発表後すぐに12月中旬の冬の官庁訪問を受け見事に惨敗したため、年末年始は精神の休養に充てていました。民間就活などもせず説明会も多くはなかったため、そのような場合は、教養区分の合格祝いと次の官庁訪問に向けた英気を養う時間にするのがベストだと思います。

●気を付けること

この時期に開催する説明会で、できる限り多くの省庁を見ておくのがいいと思います。ここから春にかけては第一志望などの職員訪問などでなんだかんだ忙しくなりますし、そこに向けた志望動機のブラッシュアップに役立つため、様々な省庁の説明会に行くことを意識するといいと思います。どれくらい行けばいいかわからない人は、とりあえず10省庁くらい見てみるのがいいのではないのでしょうか。数字の根拠は特にはないです。

●アドバイス

目いっぱい遊ぶのが大事なのはもちろんですが、切り替えが苦手な人は遊んだ後に官庁訪問対策するのが億劫になり対策開始が遅れてしまうと思うので、ちょっとでもつなぎとめる何か作っておくことをおすすめします。やる気があるうちに説明会を事前に予約しておくのもいいですし、自分の進みたい分野に関連のある映画や小説などを読むのもいいと思います。モチベを途切れさせない何かを作っておくといいのではないのでしょうか。

●勉強時間

0時間

●勉強場所

なし

以上、LAの年末年始の過ごし方でした。皆さんも体調に気を付けつつ、メリハリを付けて頑張ってください！

【民間就活・公務員併願のあれこれ】

民間就活編

民間就活と国総の勉強・官庁訪問をどのように両立するのだろうか、と悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。ここでは、民間就活を併願したLAと併願しなかったLAの体験談をご紹介します。

～民間就活を併願した人の体験談～

まずは、民間就活を併願したLAの体験談です。葛西（厚生労働省・政治国際）、佐藤（総務省・教養）がご答えします！

いつから就活を始めたのか

- 葛西 公務員：大学2年2月 民間：大学3年生10月（インターン参加）
- 佐藤 公務員：大学3年5月 民間：大学3年生12月

インターンにエントリーした企業の数と参加した企業の数

- 葛西 エントリー：（3年夏）0社、（3年秋冬）4社
参 加：（3年夏）0社、（3年秋冬）4社
- 佐藤 エントリー：（3年夏）0社、（3年秋冬）3社

本選考にエントリーした企業と、内々定を得た企業の数

- 葛西 エントリー：1社 内々定：1社
- 佐藤 エントリー：4社 内々定：0社

インターンや本選考では、どのような基準で業界や企業を選んだのか

- 葛西
志望動機で嘘を語るのは嫌だったので、志望省庁に親和性のある業界しか調べませんでした。春試験に支障をきたさないように、早期に本選考を実施する企業や、インターン直結型の企業を選びました。

- 佐藤
地方活性化を軸に選んだ。デベロッパーから地方銀行やベンチャーなどまで企業の規模関係なく見た。

国家総合職を目指しながら、なぜ民間のインターンシップや本選考に参加したか

- 葛西
一つ目の理由は、面接対策のため。人事院面接が初っ端なのは緊張するかなと思ったからです。二つ目は、保険のため。公務員併願をしなかったため、とりあえず内定を貰った状態で官庁訪問に挑みたかったからです。

- 佐藤
絶対国家総合職というわけではなかった。地方に貢献している企業・官庁をフラットに見て広く深く知ったうえで、理念・業務内容などの観点から一番魅力的なところ

ろを選ぼうと思っていた。

本選考の際、公務員受験を考えていることを、エントリー先の企業に伝えたか

●葛西

内定確約書の提出〆切を3か月延長してもらう必要があったので、「民間では御社が第一志望ですが、公務員もいいなあなんて考えてます！」と若干ぼかして乗り切りました。国総併願は禁句という業界もあるらしいので、気をつけてくださいね。

●佐藤

面接官の方が良い人だったので嘘を付けなかった。上記のように全てフラットと言った。面接自体手ごたえはあったが2次面接ぐらいで落とされた。良い人じゃなかった。

インターンに参加したことで、国家総合職試験や官庁訪問で役立ったこと

●葛西

民間の福利厚生に惹かれつつも、「自分のやりたいことは、国総でしかできないわあ」と改めて国総志望度がUPしました。「それって民間でもできる仕事じゃないの？」という官庁訪問超頻出質問に、明確な理由と自信を持って「国総でしか無理なんです！！」と言えるようになりました。あと、友達ができて嬉しかったです。

●佐藤

迷いがほぼなくなること。民間は合わなそうというか、働くモチベーションがイメージできなかった。お金以外にそんなに魅力ないしお金ってそんなに要るかなって思った。外を見て気づくことは多い。あと業界ごとのおおまかな仕事が知れて社会勉強にはなった。

本選考に参加したことで、国家総合職試験や官庁訪問で役立ったこと

●葛西

面接の練習になりました。ガクチカや自己PRが上手に伝えられるようになった気がします。（肝心の官庁訪問では、ガクチカ聞かれなくてショック…）

●佐藤

本選考をあまり経験していないので特になし。

いつ公務員を第一志望にすることを決めたか

●葛西

就活をスタートした大学2年の冬から、公務員第一志望でした。

●佐藤

国総を意識し始めたのは高校生、総務省かなあってなったのは3年の夏インターン。

公務員就活との両立で気を付けていたこと、実践していたこと

●葛西

春試験&官庁訪問対策&メンタル面に支障が出ないように意識していました。あくまで国総第一志望であることを忘れずに！

●佐藤

公務員、民間、部活（新歓期）の3つだったので優先順位をしっかりとつけた。自分にとって民間就活をする意味は何か見直すべき。そして民間を捨てた。

民間就活を終えての反省点等を踏まえた、受講生の皆さんにメッセージ

●葛西

民間就活は、面接練習や安心材料になるだけでなく、「国家総合職を志望する理由は何か、自分がやりたいことは何か。」を改めて見つめ直す好機にもなります。もちろん、見つめ直した結果、民間を選択するという道も間違いではありません。試験勉強との両立に悩む方も多いと思いますが、民間就活に気を揉みすぎると本末転倒なので、ある程度見切りをつけることをオススメします。

●佐藤

僕自身、見栄や不安など色んな理由でブレまくりました。ですがエネルギーはどれだけあってどこに割くべきかを考えて最終的には良い決断が出来たと思います。国総は魅力的だし、部活で手を抜いたら絶対後悔するし、、、そう考えて思い切って民間を諦めました。自分にとって民間就活をする意味はなにか、常に見直しましょう。自分にとって重要なものは何かよく考えましょう。

～民間を併願しなかった人の体験談～

続いて、民間を併願しなかったLAの体験談をご紹介します。経験しなかったとはいっても、インターンには参加していたり、少しばかりエントリーしたりしています。その上で、なぜ国家公務員を最終的に選択したかなども回答しているので、参考にしてみてください！

いつまで民間就活をしていたか（インターンの参加状況など）

●橋本（文部科学省・教養区分）

日程	民間就活	公務員試験勉強・官庁訪問対策
11月	なし	教養2次対策（1日3時間）
12月	なし	地上国般対策（1日4時間） 説明会・職員訪問参加
1月	なし	地上国般対策（1日4時間） 説明会・職員訪問・政策ワークショップ参加
2月	なし	地上国般対策（1日4時間） 説明会・職員訪問・政策ワークショップ参加
3月	なし	地上国般対策（1日4時間） 説明会・職員訪問・政策ワークショップ参加

●谷口（消費者庁・法律区分）

日程	民間就活	公務員試験勉強・官庁訪問対策
11月	WEB合説や企業説明会に参加	勉強を進める。説明会にはできるだけ参加。この時点から国総：民間＝9：1くらい。
12月	イマイチ民間企業の理念に共感できず、離脱	勉強を進める。説明会に参加。
1月	なし	文科省の相談会に参加
2月	なし	省庁説明会に参加
3月	最後に合同企業説明会に参加し、自身の就活の方向性を決定づける	今まで見ていなかった省庁も少し説明会に参加してみる

民間就活を辞めた理由（国家総合職・民間の比較から）

●橋本

インターンや面接をするのが面倒だったからです。営業をしたくなかったし、面接も自信が無かったので公務員併願すればいいやと思ってました。わりと後悔してます。

●谷口

イマイチ民間企業の理念に興味を惹かれなかったからです。また、社会のメインユニットである企業に属するよりも、それらをサポートする公務員の方が自身の性格に合っていると考えたからです。

●野里

ダンスサークルの活動に明け暮れ、気づいたころには公務員試験勉強をしないといけない時期になっていたので民間就活を諦めざるを得ませんでした。安全保障に携わりたいというのが就活の軸だったので、そもそも民間で本気でやりたいと思えるものにも出会えなかったという理由もあります。

●高宮

理念を重視して就職活動をしていましたが、民間の説明会などで聞く理念には共感できるもののその根底にある利益追求にずっと納得ができなかったのが、大きな理由です。あとは、もし国総に落ちたら公共政策大学院に進むことを考えていたため、無理に両立する必要を感じませんでした。

受講生へのメッセージ

●橋本

民間就活しなかったことを後悔している私からアドバイスするとしたら、「民間就活は公務員を本当に志望しているかどうかを確かめるうえではとても大事」だと思います。この時点で国総一本に絞るとするのは熱意という面では良いですが、視野が狭いともとれます。もちろん限られた時間の中でなるべく国総に集中することは重要です。みなさんの今の志望状況やリスク管理など、さまざまなことを考慮したうえで民間就活も少しやってみるのは全然アリだと思うので、検討してみてください。

●谷口

個人的には民間就活を辞めたことに後悔はありません。しかし、民間企業の合同説明会やインターンに参加したことは良い経験であったと思います。自分がなぜ国家総合職を目指すのか、公務員の役割と民間企業の役割の違いとは、など民間就活をしなければあまり深くは考えなかったこともあり、官庁訪問や人事院面接にも反映できたと思います。ただ、志望理由が明確である場合などは特に行う必要性も無いのでは…？と思うので、民間就活をしていないことで焦ったりする必要もないと思います。

●野里

省庁から内定をいただいているので結果的に民間就活をしなくても良かったと思いますが、もし国総に落ちていた場合、私は大学院か都庁しか道が無かったのでリスクヘッジはできていなかったと思います。しかし、そこでいろいろと手をのばし民間就活をしていたら試験には落ちていたと同時に思います。最後は自分のやりたい道を選ぶしかないです。

●高宮

私は面接が苦手で官庁訪問で苦労したので、ちょっとでも苦手意識がある人は練習だと思って民間就活をするべきです！！

【公務員併願編】

年末年始になり、公務員併願を考えている人も併願するか悩んでいる人も、どの試験を併願しどのように対策しようか考え始める時期だと思います。そこで、この項目ではLAの経験を踏まえて公務員併願のあれこれについてお伝えすることで、皆さんに公務員併願についてのイメージを持っていただけたらと思います。

なぜ公務員併願をしたのか、しなかったのか

併願をした理由

●橋本

そもそも最初から国家総合職を志望していたわけではないので自然な流れでした。最初は、面接が比較的楽で営業が無く、ワークライフバランスがとれて規模の大きい仕事ができる公務員そのものに魅力を感じていました。そして、民間就活はしないつもりだったのでリスク管理としてもたくさん受けました。

●長井

やりたいことは国家総合職でしたが、無い内定を回避するために併願を検討しました。無職で追い込まれてたので…。

●谷口

民間企業には向いていない、大学院には興味があるがまだ試験は先、などを踏まえ、国家総合職を目指しつつ内定をもらえそうなものとして受験しました。リスク管理としての立ち位置が大きかったです。

併願をしなかった理由

●葛西

「公務員になりたい」というより、「国家総合職になりたい」という思いが強かったからです。加えて、他の試験種は国総よりも日程が遅いので、安心材料にならないし、試験情報を収集するのも面倒だなあと感じていました。その代わりのリスクマネジメントとして、民間就活を少しだけしました。

●佐藤

考えたことがなかった。地方公務員等と国家総合職は志望理由が完全に違うと思う。リスク管理はすべきだと思うけど、、、

●高宮

国家総合職に今年なれなかった場合は、公共政策大学院に進んで勉強して改めて視野を広げることを考えていたので、特に併願はしようとは思いませんでした。

公務員併願先の決定方法

公務員の併願先は多種多様、とても豊富なためどの試験を併願すればよいか悩むという人もいるかもしれません。そこで、併願先を決定する際に意識するとよい視点を3点紹介し、実際にLAはその視点に立って併願をしていたかお話していこうと思います。

●志望度

これが一番大切な視点だと思います。本命である国総に割く勉強時間を減らしてまで併願するわけですから、最終的にそこで働くことに前向きになれる職種を併願先とするのがよいと思います。例外として、次項で述べる試験科目の重複度合いが高い場合がありますが、基本的には志望度の高さは重要な視点だと思います。

●試験科目の重複度合い

国総の試験科目併願先の試験科目がどれだけ重複しているかも大切な視点です。本命である国総と科目が重複していれば併願先に割く勉強時間を減らすことができますし、当然合格率も高くなります。今の時期から併願先に考えている職種の試験科目、そして過去問を参照しておき、併願に必要な勉強量を想定しておきましょう。

●試験日程

試験日程は直前期になって重要になってくる視点です。国総と試験日程がかぶっている試験種はありませんが、国総の1次試験の1週間後に筆記試験がある職種であったり、官庁訪問の数日前（場合によっては官庁訪問中）に最終面接がある試験種があったりとかなりの過密日程になっています。とはいえ、筆記試験は基本週末にしかないので、1週間おきならば負担にならないという人もいるでしょう。各個人の状況に合わせて試験日程を調整してほしいと思います。

(例) 橋本の公務員併願状況

	志望度	科目	日程
東京都庁	◎	×	×
横浜市役所	○	○	×
国家一般職	△	△	△
国税専門官	×	△	△
裁判所事務官一般職	×	×	○
旭川市役所	×	×	△

各併願先の勉強方法

●橋本

○東京都庁

いつから：専門記述は4か月前から

勉強方法：経済学・財政学・憲法・行政法・政治学・行政学・社会学の専門記述を全部で70テーマほどやっていました。勉強方法としては、TACの対策本をもとに頻出度が高いものを一度暗記して、あとはアウトプットしながら確認していました。

反省点：面接が官庁訪問第2クール2日目と被り、結局官庁訪問にも面接にも行かないという謎ムーブをかましてしまったこと。

○横浜市役所

いつから：横浜市役所のための対策は特になし（教養科目のみ）

勉強方法：なし

反省点：なし

○国家一般職

いつから：専門択一は大学3年の4月から

勉強方法：法律・経済・政治系全て講義を受けて問題演習を繰り返しました。

反省点：なし

○国税専門官

いつから：専門択一は大学3年の4月から、専門記述は東京都対策のついで

勉強方法：会計学はやらず、他の試験種で使うものを同じように取り組みました。

反省点：なし

○裁判所一般職

いつから：それぞれ上と同じ

勉強方法：上と同じ

反省点：なし

○旭川市

いつから：前日から（SPI）

勉強方法：熟語やことわざを20分、算数的なやつを40分なんとなく確認しました。

反省点：なし

●谷口

○東京都庁（一般：行政）

いつから：試験1週間前くらい

勉強方法：東京都の政策は知らなかったなので、政策論文用の対策として、東京都のHPで政策について少し知識を入れました。

反省点：面接日程・時間が国家総合職の人事院面接（＋裁判所事務官の面接）と被り、併願先として活用できなかったこと。

○国家一般職

いつから：国際関係と行政学のみを試験2週間前くらいから

勉強方法：憲・民×2・行・英語×2・国際関係・行政学を選択。行政学のみ一切知識が無かったため、TACのテキストを使って重要そうな人物や学説のみ覚える。国際関係は世界史の知識＋過去問で良く出る分野を探し、重点的に覚える。

反省点：結局行政学は解けなかったなので、その場で教育学に変更した（官庁訪問の対策で多少の知識はあった）こと。結果として勉強時間を無駄に使った。

○国税専門官

いつから：特になし

勉強方法：憲・民・行の知識で乗り越えた。直前の試験から約2週間空いていたので、数的処理のみ国家総合職の問題集を使って解き方を思い出した。

反省点：なし

○裁判所事務官一般職

いつから：試験1週間前くらいから

勉強方法：憲法の論述は国家総合職の2次試験対策のつもりで受けに行ったので、どの範囲から出題されても問題ないように知識を固めて臨んだ。

反省点：国家総合職の2次面接及び東京都庁の面接と日程・時間が被り、併願先として機能しなかった。

●長井

○東京都庁

いつから：都庁一次の一か月前

勉強方法：気分転換もかねて過去問集を一通り解いて択一のボーダーラインくらいの点数は取れていた所以で特別な対策はしませんでした。論文に関しても特別区でないならば対策しなくてもよいと思います。

反省点：面接日程が第2クール初日とかぶったので辞退してしまいました。志望動機を考えてましたがじっくりくるのが思いつきませんでした。面接対策はやっておいた方がよいと思います。

おわりに

国総の勉強をしている人は公務員併願先の選択肢も多く、また魅力的な職種も多く存在するため悩む人も多いと思います。本命である国総の対策に集中し合格する可能性を少しでも高くするべきという人もいれば、国総のリスクを考慮して併願するべきだという人もいるでしょう。

今回お話をさせていただいた内容を参考に、皆さんの状況（勉強の進捗、国総の志望度など）に応じて公務員併願について考えてもらえればと思います。

【専門区分】LAの勉強スケジュール（12月～1月）

法律区分：谷口

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
12月第1週	曜日ごとに分野を決めて、1日2問ずつ解いていた（苦手な分野は週2日にするなど調整）	受講：民法・行政法 （並行して問題集を解く）	なし
12月第2週		復習：憲法・民法・行政法 →テキストを白紙に再現できるように	憲法講義
12月第3週	自然科学のみ受講し、少し（1週間に1回テキストを開く程度）	受講：国際法	憲法の論証を覚え始める
12月第4週		復習：憲法・民法・行政法 →テキストを白紙に再現できるように	
12月最終週		国際法 →問題集をベースに復習	
反省点	特になし	特になし	もう少し早めに受講を始めていても良かったかもしれない

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
1月第1週	曜日ごとに分野を決めて、1日2問ずつ解いていた（苦手な分野は週2日にするなど調整）	受講：国際法・刑法	憲法・民法講義
1月第2週		復習：憲法・民法・行政法 →テキストを白紙に再現できるように	民法講義
1月第3週	本番でどの分野に時間を割くかを検討し、効率的な勉強時間配分を模索した	刑法・国際法 →問題集をベースに復習	憲法・民法の論証を覚える
1月第4週		受講：商法・刑法	
1月最終週		復習：憲法・民法・行政法 →テキストを白紙に再現できるように 国際法・商法・刑法→問題集をベースに復習	
反省点	分野の切り捨てはもっと後でも良かったかもしれない	特になし	特になし

政治国際区分：野里

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
12月第1週	1日1問は必ず数的処理の問題を解くことを目標にする。 週末に未視聴だった数的処理の講義を見る。 文章題の講義を受講。	なし。 数的処理を終わらせることを優先するため専門択一には手を付けなかった。	なし。 専門記述は1次試験終了後に勉強開始。
12月第2週	場合の数、道順の講義を受講。		
12月第3週	確率の講義を受講。		
12月第4週	資料解釈の講義を受講。 基礎能力演習を受けたが下から数えた方が早い順位だった。		
良かった点	数的処理をやらないよりはまし。		
反省点	もっと早くから勉強していればよかった。		

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
1月第1周	帰省中のため何もしなかった		なし。 専門記述は1次試験終了後に勉強開始。
1月第2週	大学の試験勉強のため何もしなかった。		
1月第3週			
1月第4週	数的処理を1日1問解く	国際関係の講義視聴開始	
良かった点	得意科目の国際関係の勉強から始めたことで勉強の波に乗ることができた。		
反省点	大学の試験勉強に時間をとられてしまった。もっと早くから専門科目をやっておけば良かった。		

政治国際区分：葛西

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
12月第1～3週	<u>数的処理</u>：3本立ての演習。 ①判断推理→毎日2～4問 ②数的推理→週2で90分ずつ演習。 ③資料解釈→2問15分×2で演習。 <u>文章理解</u>：週1回1セット（現代文×2英文×4）を25分以内で解く。 <u>知識科目</u>：特になし	<u>必須科目</u> 視聴済みの憲法・政治学・国際関係は、それぞれ90分×週2で演習。（A・B問題を優先） + α 政治学の択一演習を解く。知らない人名ばかりで正答率最悪。萎えたけど、テキストに書き込みして暗記した。 <u>選択科目</u> 講義視聴を最優先！！！ 年内に見終わるように、国際法&行政学を週1本ペースで視聴	なし
12月第4週	年末年始は数処強化week！ 3本立ては変えずに、解く時間&問題数を増やす。	何としてでも年内に視聴を終えるべく、必須科目<<選択科目の比重に変更。 動画視聴に飽きたら、必須科目の問題集をやる流れ。	政治学・国際関係A 講義視聴スタート
反省点	専門択一&民間インターン&バイトに時間を取られ、ノルマを達成できない日もあった。	嫌いだった国際法を後回しにしすぎて、年末に6本一気見することに。 バランスよく見ないとほんと嫌いになる。 （国際法に罪は無い）	なし

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
1月	12月と同じ。	<u>必須科目</u>：12月と同じ <u>選択科目</u> 行政学&国際法は、それぞれ90分×週2で演習。（A・B問題を優先） テキストに掲載されていない人名&理論が多かったので、テキストに書き込みした。結果、余白がなくなった。	政治学・国際関係ABの講義視聴。 1月中に答練を全て提出するために、週に1本ずつ書く。
反省点	学期末レポートで忙しく、後半は計画通りに進まないことが多かった。忙しくても省庁イベントには参加していたので、良しとしよう。		書いた方がいいが、時間が無くて書き直しはできなかった。2次試験前の5月にやり直した。

経済区分：山口

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
12月第1週	傾斜配点を言い訳に専門択一の勉強に集中してほとんど手をつけられず	経済理論応用の受講を進める（受講＋問題集演習）（1/2） 統計・計量の学習を進める（1/2）	特になし
12月第2週			経済理論 経済政策（講義）
12月第3週			経済理論 経済政策（講義）
12月第4週			特になし
12月最終週			特になし
反省点	数か月後、後悔することになるため毎日コツコツと学習をしておくべきだった	経済理論の学習をもう少し早く進めておけば、12月の記述講義を受講しやすかったはず	特になし

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
1月第1週	なし	理論応用（8/10）、計量（終）	経済政策（講義）
1月第2週		国際経済、財政理論	経済理論 経済政策（講義） 政策論文
1月第3週		国際経済、財政理論	経済理論 経済政策（答練）
1月第4週		国際経済、財政理論	経済理論 経済政策（答練）
反省点	毎日コツコツやるべきだった、、、	財政制度に手を回すことができなかった、、、	なし

【前回いただいた質問への回答】

Q. TACの受講スケジュールに合わせるべきですか

A. 可能であれば合わせるべきですが、自分に合っている学習法が見つかったら合わせる必要も無いと思います。今月も年末年始の学習スケジュールを載せているので、よければ参考にしてみてください！

Q. 政策論文はどのように対策すべきですか

A. 1月のHRで詳しく取り上げるので、ここでは簡単にお話します！

まずはTACの講義を視聴して答練を提出しましょう。時間配分や資料の活用法を予め決めておくと本番焦らずに済みます。3月の記述模試までに、一度答練で感覚を掴みましょう。

また、政策論文は資料を上手くまとめて、論理的な文章を作成できれば、足切り点を食らうことはほぼありません。むしろ奇を衒った主張や詳しすぎる政策論はあまり好まれないので、「120分でいかに分かりやすい文章を書けるか」だけを意識してください。年明けに合格者復元答案集が配布されるので、高得点の答案を参考に、文章構成や接続詞の使い方などを真似してみましょう。

Q. 学業と試験勉強の両立はどのようにしていましたか

A. 時期によって優先順位を変えるのがいいのかなと思います。やっぱり単位は必要なので、大学のテスト期間はテストに時間を割く、またゼミ等で忙しい時にはそっちに時間を割くなど、バランスを考えましょう。また、単位を取るために必要な勉強量を把握して、計画をたてながら効率よくこなすのがおすすめです。

Q. どのようにメンタルケアをしていましたか

A. 人によって様々です。辛い物を食べたり、バンジーを飛びに行ったり、部活に熱中したりと自分に適した方法を探る必要があるでしょう。

Q. 日々読んでいた本はありますか

A. 橋本：省庁関連の本は仕方がなく読んでいました。「最近読んだ本で印象に残ったものは？」のために1冊本を買いましたが、3分の1だけ読んで挫折しました。活字苦手なら読まなくてもいいかなと思います。

長井：『知的複眼思考法』はオススメです。サンデルの本もおすすめです。大前研一もいいですよ。『学問のすゝめ』などに代表される日本の思想家の本は結構おすすめです。とにかくたくさん読んでいて損はありません。

Q. OB・OG訪問の回数はどうすればいいでしょうか

A. 個人的に行うのであれば、回数というよりは、省庁に関する自分の疑問が解決できていることが大事だと思います。各省庁で実施しているものは重要な場合もあるので、政策研究などを通じて出てきた疑問などを積極的に聞いてみましょう。

Q. 職員訪問の準備はどんなことをしていましたか

A. まずは自分の聞きたい分野や政策を伝えましょう。省庁によりますが、当該分野の職員さんをマッチングしてくれます。次に逆質問リストを作成しましょう。なぜその分野に関心を抱いているのか、政策の疑問点・課題点、実現してみたい政策や自分の考えなどをまとめていました。事前に質問リストを作成することで、緊張せずに臨むことができます。プラスαで、入省して最もやりがいを感じたこと、職員の雰囲気、仕事の軸などを聞いても良いと思います。政策を動かしている職員さんの生の声を聞ける機会はとても貴重です。せっかくの機会を無駄にしないように、事前準備は入念に！

Q. 官庁訪問体験談をお聞きする機会がありますか

A. 官庁訪問関連については1月以降のHRに実施する予定です。

Q. ESの書き方について教えてほしいです

A. 官庁訪問の志望動機の書き方については1月以降のHRで実施する予定です。

【今後の告知】

★LAカウンセリング★

内定者アドバイザー（LA）は皆様のご相談をお待ちしています！
在席表はマイページから別紙・マイページ・メールニュースをご参照ください。
深刻な相談、息抜き、愚痴、何でも結構です！

★1月ホームルーム★

「国家総合職合格への道～蛍雪之功～」

論述試験対策・官庁訪問の実際 Vol.1

1/16（月）16：30～17：30 新宿

1/17（火）18：30～19：30 オンライン

予約不要、入退室自由です！

アンケートのご回答をお願いします！